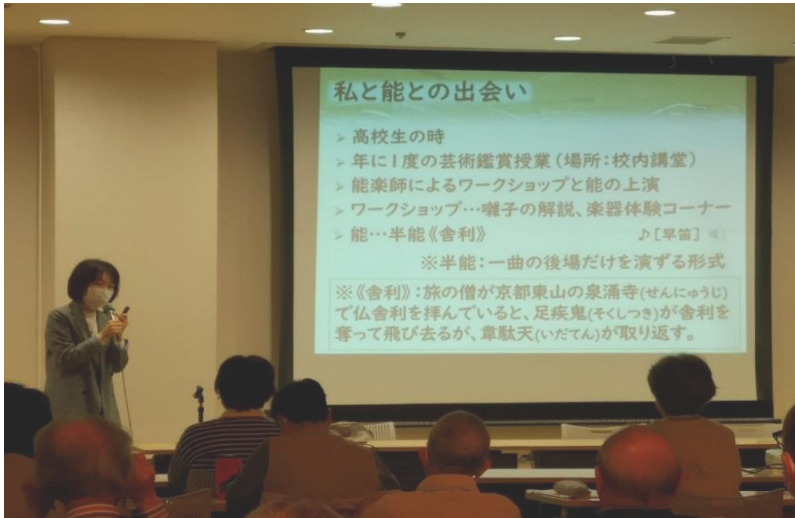


# 伝統芸能から人間ドラマを楽しむ 特別短期講座

テーマ：第1回「日本伝統芸能の概説」

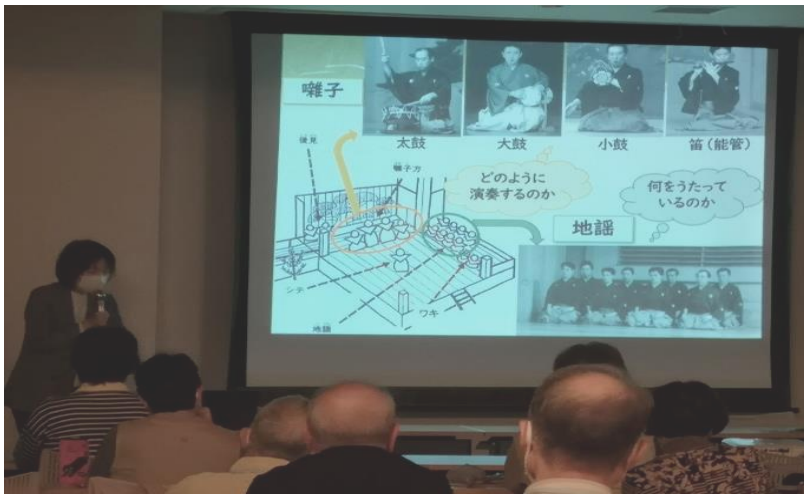
日時：2023年4月12日 9:45~11:45

講師：北見 真智子 先生 (大阪音楽大学講師・音楽学)

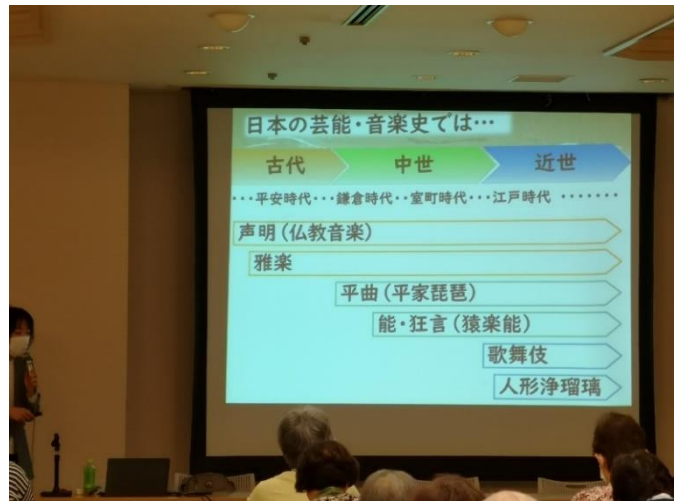
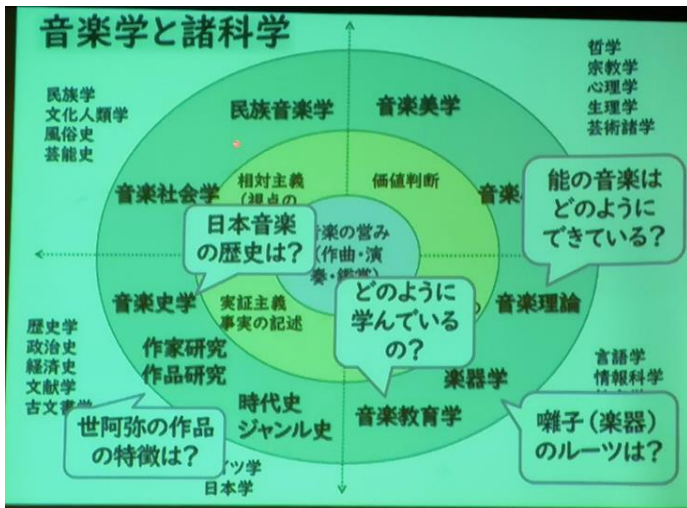


北見先生と「能」との出会い

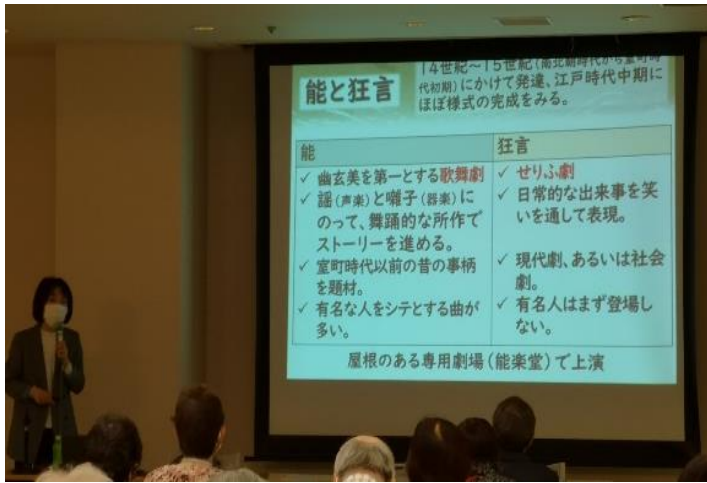
- ① 高校生の時
- ② 年に1度の芸術鑑賞授業
- ③ 能楽師によるワークショップ
- ④ ワークショップ 囃子の解説 楽器体験
- ⑤ 能・・・半能《舍利》



- 囃子 謡や能をはやし立てること  
太鼓・大鼓・小鼓・笛(能管)
- 地謡 能楽で地の文の部分を、舞台の端にいて大勢にてうたうこと  
その人々 またはその謡



ユネスコの無形文化遺産に登録!!



## 能・狂言の始まりは？

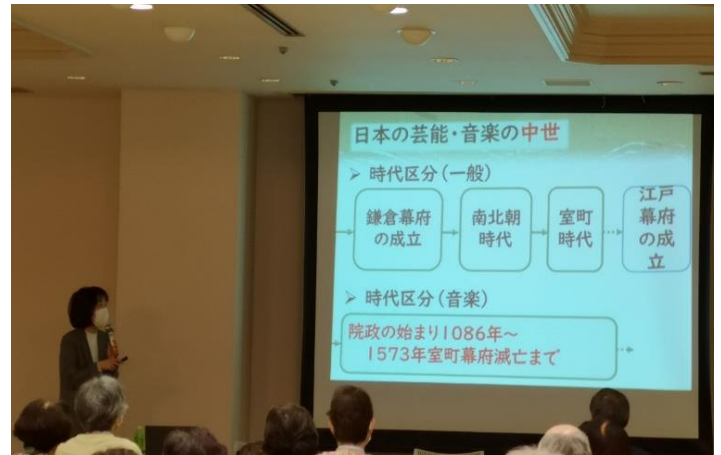
奈良時代にまで遡る⇒中国大陸から渡来した「散楽」

- 滑稽な物真似芸（お笑い）
- 曲技（アクロバット）
- 幻術（マジック）

能 歌舞→人物の設定、歌や舞の組み合わせ、劇的要素が加わり演劇性を帯びる

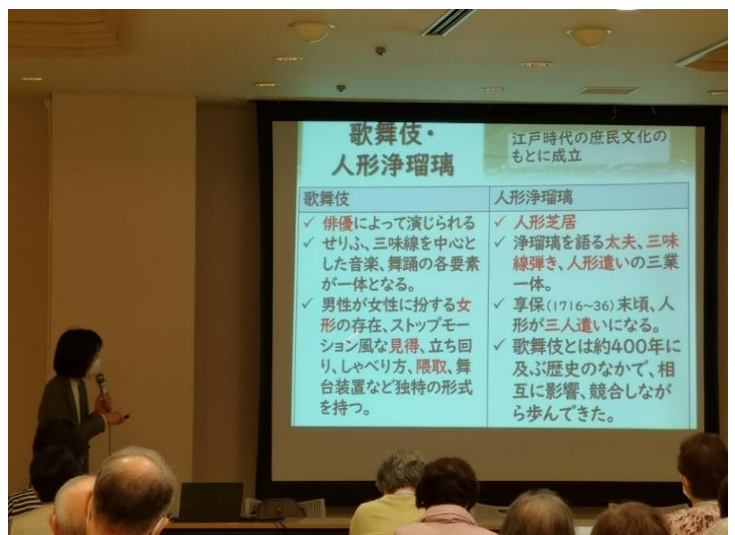
狂言 滑稽な物まね・寸劇→人物の設定、簡単な筋書き、それに従った単純な演劇に

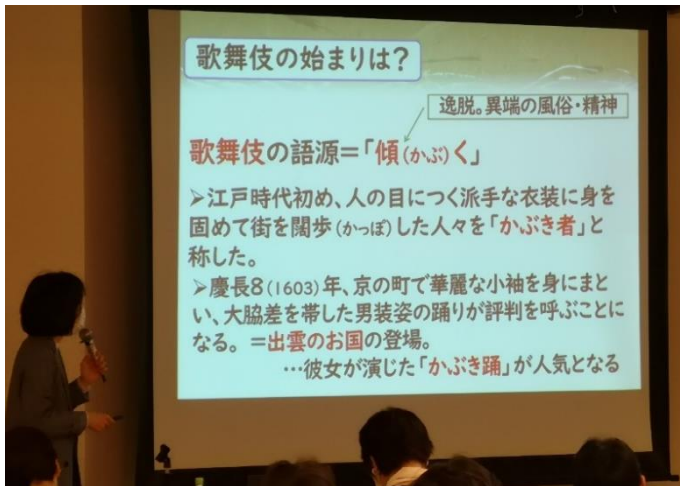
近世 時代区分（一般） 江戸幕府の成立  
時代区分（音楽） 三線が琉球から日本本土  
（1558—1570）から



三線 ニシキヘビの皮  
ツメ 水牛の角  
三味線 猫（または犬）の皮  
撥 象牙、木、べっ甲

歌舞伎・人形浄瑠璃  
江戸時代の庶民文化のもとに成立





### 歌舞伎の始まりは?

逸脱。異端の風俗・精神

歌舞伎の語源=「傾(かぶ)く」

- >江戸時代初め、人の目につく派手な衣装に身を固めて街を闊歩(かっほ)した人々を「かぶき者」と称した。
- >慶長8(1603)年、京の町で華麗な小袖を身にまとい、大脇差を帯した男装姿の踊りが評判を呼ぶことになる。=出雲のお国の登場。  
...彼女が演じた「かぶき踊」が人気となる

女(遊女)歌舞伎

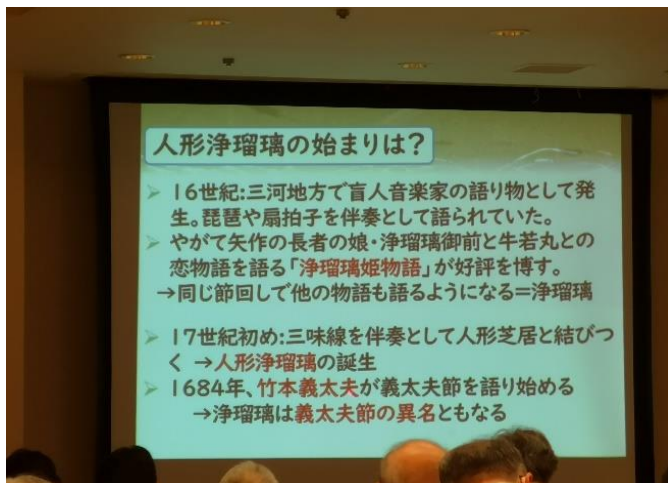
若衆歌舞伎

野郎歌舞伎

男性が女役を演じる「女方(女形)」が成立

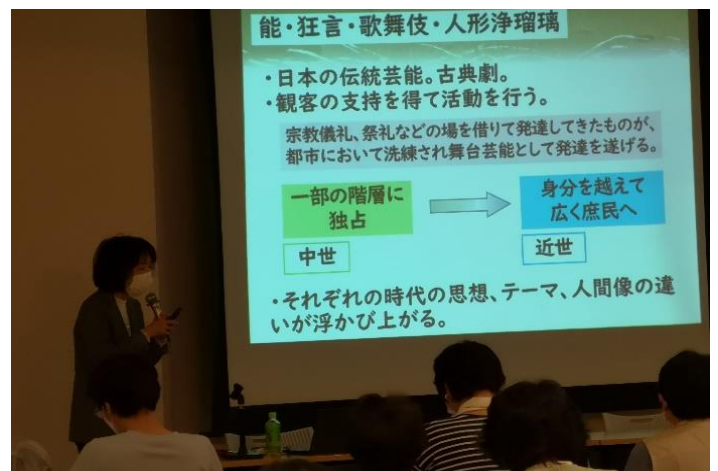
舞や踊りよりもストーリー性重視

(今日の歌舞伎の原型)



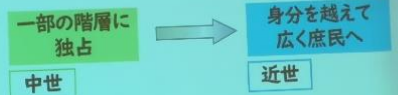
### 人形浄瑠璃の始まりは?

- > 16世紀:三河地方で盲人音楽家の語り物として発生。琵琶や扇拍子を伴奏として語られていた。
- > やがて矢作の長者の娘・浄瑠璃御前と牛若丸との恋物語を語る「浄瑠璃姫物語」が好評を博す。  
→同じ節回して他の物語も語るようになる=浄瑠璃
- > 17世紀初め:三味線を伴奏として人形芝居と結びつく →人形浄瑠璃の誕生
- > 1684年、竹本義太夫が義太夫節を語り始める  
→浄瑠璃は義太夫節の異名ともなる



### 能・狂言・歌舞伎・人形浄瑠璃

- ・日本の伝統芸能。古典劇。
  - ・観客の支持を得て活動を行う。
- 宗教儀礼、祭礼などの場を借りて発達してきたものが、都市において洗練され舞台芸能として発達を遂げる。



- ・それぞれの時代の思想、テーマ、人間像の違いが浮かび上がる。

## 今年度のカリキュラム

- |       |                      |
|-------|----------------------|
| 4/12  | 日本伝統芸能の概説            |
| 5/10  | 『葵上』(能)~女のプライドと愛のはざま |
| 6/14  | 『勸進帳』(歌舞伎)~主君・忠義     |
| 7/12  | 『隅田川』(能)~母子の愛        |
| 9/13  | 『俊寛』(能・歌舞伎)~運命の人     |
| 10/11 | 『曾根崎心中』(文楽)~葛藤の果てに   |
| 11/8  | ☆見学会(篠山能楽史料館)        |
| 12/13 | 『髭櫓』(狂言)~夫婦のかたち      |
| 1/10  | 『魚屋宗五郎』(歌舞伎)~悲しみと怒り  |
| 2/14  | 講談を知る(【修羅場読み】も体験)    |

午後からのオリエンテーション

クラス運営

カリキュラム説明

自己紹介

(担当:千種)